

## 英語の音声を楽しむ授業

— 「リズム読み」が教室にもたらすもの —

山田昇司

(朝日大学：岐阜県瑞穂市穂積1851)

### 1 自分史「英語と私」— 私はどのように学び、どのように教えてきたか

#### 1-1 わたしが英語教師になるまで

- 1-1-1 オール・イングリッシュの地獄 — 色を失った私、救ってくれた Y 君
- 1-1-2 初めて英語で話しかける — 分からなかった「ア、ヒ、ル」
- 1-1-3 「英語科は無知だね」 — 模擬店「ケネディ」の起こした波紋
- 1-1-4 こんなことじゃダメだ！ — Autonomus Learner への脱皮
- 1-1-4-1 英語ニュースを聞く — 米国式発音と日本語なまり
- 1-1-4-2 「英語を話す会」に参加する — 日本語話すと罰金 100 円
- 1-1-4-3 英語検定への挑戦 — 「ハウ・クリア！」のつぶやき
- 1-1-5 何でも英語で言いたくなる — 英語力の伸長と「英語バカ」

#### 1-2 わたしが「リズム読み」と出会うまで

- 1-2-1 新米教師はどこ見てる？ — オール・イングリッシュ教師に異議あり！
- 1-2-2 最後の 1 人まで許さんぞ！ — 辞書でボコンの熱血青年教師
- 1-2-3 ジュースパック飛来 — Don't eat your lunch. なんて言ってる場合か！
- 1-2-4 挨拶は「プルダンプルダゲン」 — 「リズム読み」で一変した教室
- 1-2-5 消え去った All in English の夢 — 英語を使うのは「教師」じゃないんだ！
- 1-2-6 英語で話しかける生徒たち — 「会話」させるなら「リズム読み」！？

### 2 マイケル・ムーア演説 "America is NOT broke!" の授業 (2012 年度)

#### 2-1 「大学英語」の授業を組み立てる方法：題材選択、授業構成、教材作成

- 2-1-1 自分の認識がゆさぶられる題材を！ — 「チェルノブイリ」「沖縄からグアムへ」
- 2-1-2 ユーモアとパワー溢れる演説 — 米国にもやってきた「アラブの春」
- 2-1-3 新形態「リズム読み」プリント — フレーズ訳が付いている！
- 2-1-4 「只管朗読」と「只管筆写」 — 「リズム読み」と「フレーズ視写」
- 2-1-5 「できる」から「わかる」へ — 「リズム読み」から「記号づけ」へ
- 2-1-6 ネイティブでも分からない！？ — 「聞く」の陰に「読む」あり
- 2-1-7 再考「A させたいなら B 指示せよ」 — 長期的な視野でものごとを見る

#### 2-2 音声を楽しむ授業の風景：「リズム読み」が教室にもたらすもの

- 2-2-1 綴られた挫折と絶望 — 「大嫌い」「大の苦手」から始まる授業
  - 2-2-1-1 中学英語「文法の関所」 — つまづきは「be 動詞」「一般動詞」「進行形」(?)
  - 2-2-1-2 学習者が気づかない関所 — 「日本語力」と「見えない学力」
    - 2-2-1-2-1 日本語力の貧困 — 「少年が石を投げた」vs 「少年が投げた石」
    - 2-2-1-2-2 生徒にも教師にも見えないもの — 「集中力」「持続力」と「眼の力」
- 2-2-2 「大嫌い」には何から始めるべきか — 「メンタルブロック」の解除
- 2-2-3 英語が苦手な大学生の授業づくり — 基本的なのにレベルは高い！？

- 2-2-4 「リズム読み」の風景
  - 2-2-4-1 「リズム読み」の特長 — 「身体性」と「発展的困難性」
  - 2-2-4-2 「リズム読み」がもたらすもの — 教室に吹き込む新しい風
  - 2-2-4-3 「リズム読み」に追い込むしかけ — 「ひと」を管理する技術
- 2-2-5 満点が続出する「並べ替えテスト」ができるまで
  - 2-2-5-1 「どうやって覚えたらいいですか？」 — 量が多すぎた最初のプラン
  - 2-2-5-2 欠けていた語順認識 — 新たな「フレーズ訳」が必要になった理由
  - 2-2-5-3 三つのコラボが生み出すもの — 「センマルセンとつぶやきながら・・・」
  - 2-2-5-4 寺島流「セン・マル・セン」vs 國弘流「何が、どうする、何を」
  - 2-2-5-5 大人気「スラッシュ・リーディング」 — どうしてそこで切れるんですか？
  - 2-2-5-6 「すごいね、満点が18人もいた！」 — 選択肢は「枝葉」から「幹」へ
- 2-2-6 「リズム読み」「通し読み」から「群読」「スピーチ発表」へ
  - 2-2-6-1 「通し読み」でリズム・パワー、UP！ — No Break の「リズム読み」
  - 2-2-6-2 やる気を引きだす「さじ加減」 — 「リズム読み」に必要なもうひとつの評価
  - 2-2-6-3 「英語で英語の授業」に字幕スーパーを！ — 群読プレゼンはフレーズ訳つき
  - 2-2-6-4 「模倣」から生まれる「創造性」 — レポートには出てこなかった群読
- 2-2-7 スピーチ発表評価方法の新たな提案
  - 2-2-7-1 「減点法」はなぜダメか？ — 意欲を引き出す評価のありかた
  - 2-2-7-2 「俺には投票するなよ」 — もう一度聞きたいスピーカーの選出
  - 2-2-7-3 「ムーアが見えた！」 — 教師評価とぴったり一致した学生投票
- 2-2-8 授業にとって「楽しさ」とは何か？ — 「もっと早くに出会っていたら・・・」

### 3 「リズム読み」とは何か

### 4 「リズム読み」ワークショップ

### 5 「英語コミュニケーション」を考える視点

#### <資料>

1. 宮城県教育委員会 HP — 英語教育実践モデル指定事業
2. 「英語リズムの基本構造」 — 『英語にとって音声とは何か』 pp.12-13
3. 経営学部新入生アンケート 2012年4月 経営1年K君
4. 「リズム読み」の風景 <その1> 前期レポートより：経営1年Mさん、N君
5. 「リズム読み」の風景 <その2> 前期レポートより：経営1年H君、U君
6. 後期最終テスト：表面 英訳の語順訳穴埋めテスト 経営1年Kさん
7. 後期最終テスト：裏面 授業レポート 同上
- 8～13. M.ムーア演説全文の「フレーズ訳つきリズム読みプリント」 縮小で6枚
14. プレゼン用練習シート 経営3年N君
15. 前期最終レポート 法学部1年Fさん
16. 記号研(JAASET)出版文献リスト、寺島研究室&ブログのURL、山田のメルアド